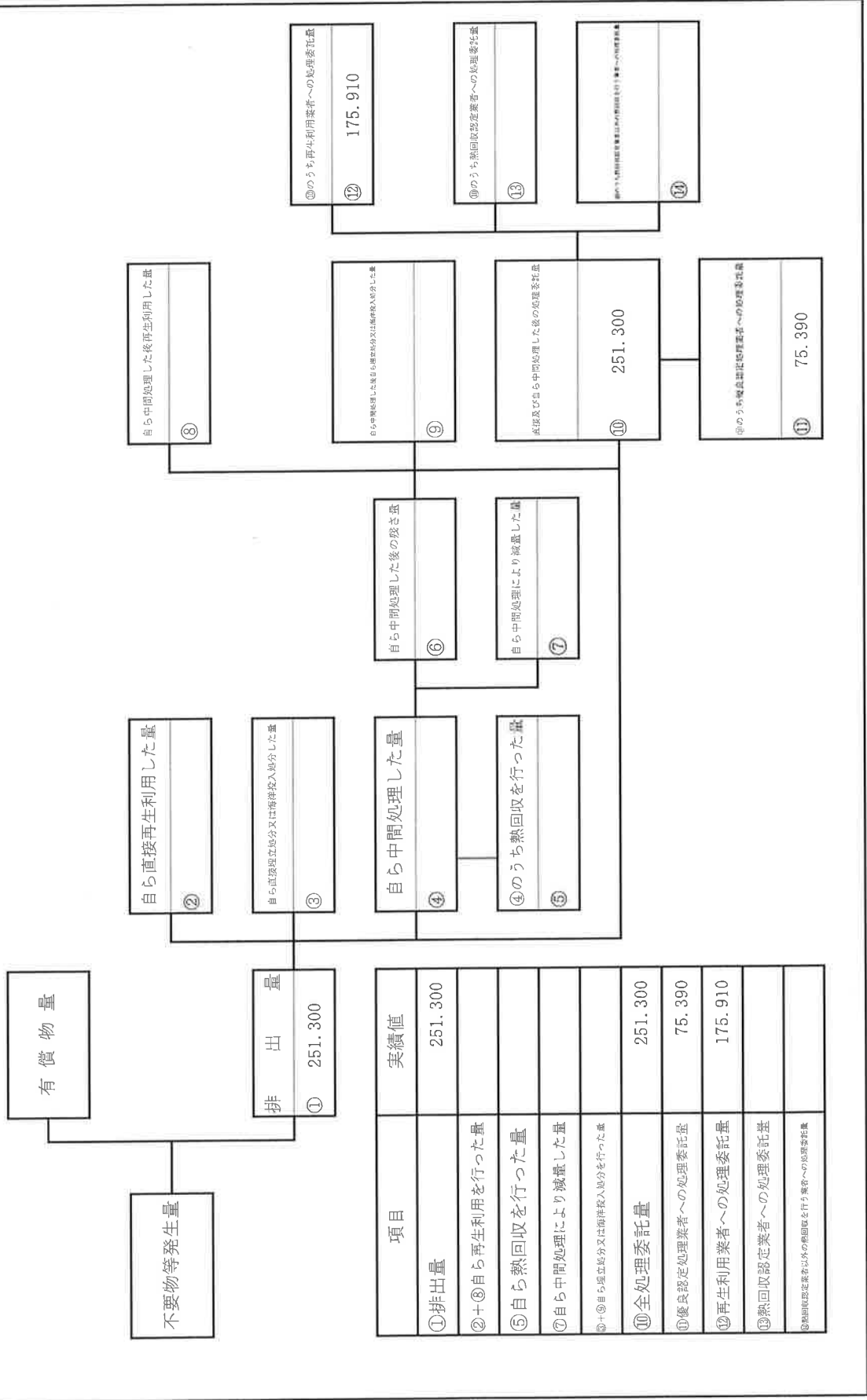


産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
令和 7年 6月 27日			
茨城県知事 殿			
提出者			
住所 茨城県水戸市けやき台3丁目56番地			
氏名 茨城グランディハウス株式会社			
代表取締役社長 林 和久			
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0289-304-6624 (本社建築部)			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成28年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	茨城グランディハウス株式会社 県南支店		
事業場の所在地	牛久市ひたち野西2丁目22番地4		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	1883.875 t	全処理委託量	1883.875 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	105.813 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1778.062 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
※事務処理欄			



計画の実施状況
(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



項目	実績値
①排出量	251.300
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
⑧+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	251.300
⑪優良認定処理業者への処理委託量	75.390
⑫再生利用業者への処理委託量	175.910
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接再生利用した量
②

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

排出量
① 98.550

自ら直接処理処分又は海洋投棄処分した量
③

自ら中間処理し廃棄物処理委託先へ搬入処分した量
⑨

項目	実績値
①排出量	98.550
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑥自ら焼立処分又は海洋投棄処分を行った量	
⑩全処理委託量	98.550
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	98.550
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量
④

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理により減量した量
⑦

低炭及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

98.550

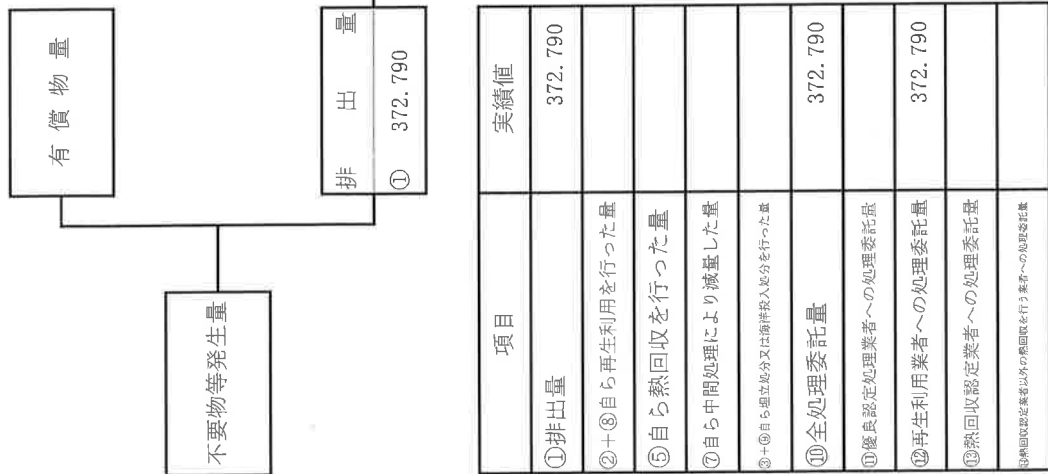
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫

計画の実施状況

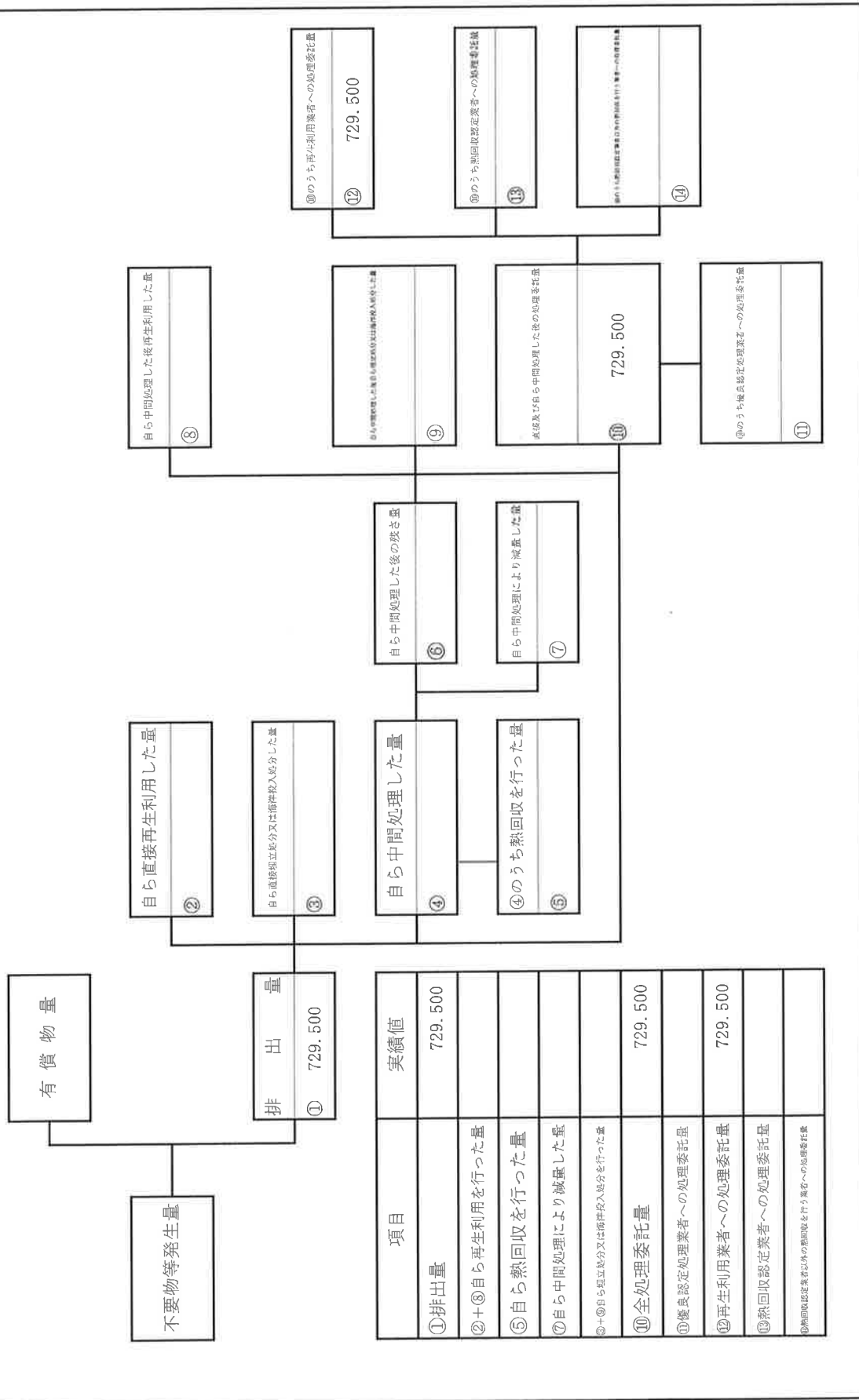
(産業廃棄物の種類：木くず)





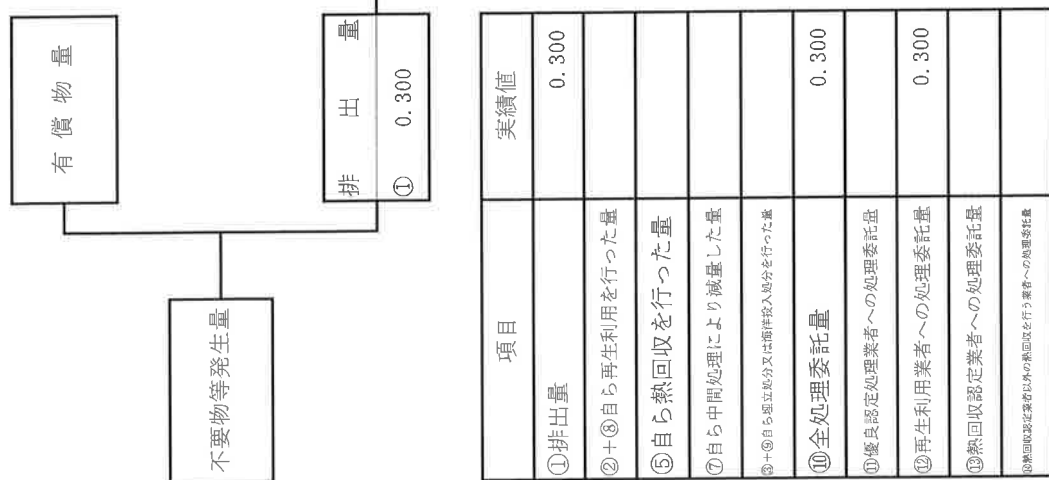
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： ガラス・コンクリート・陶器くず)

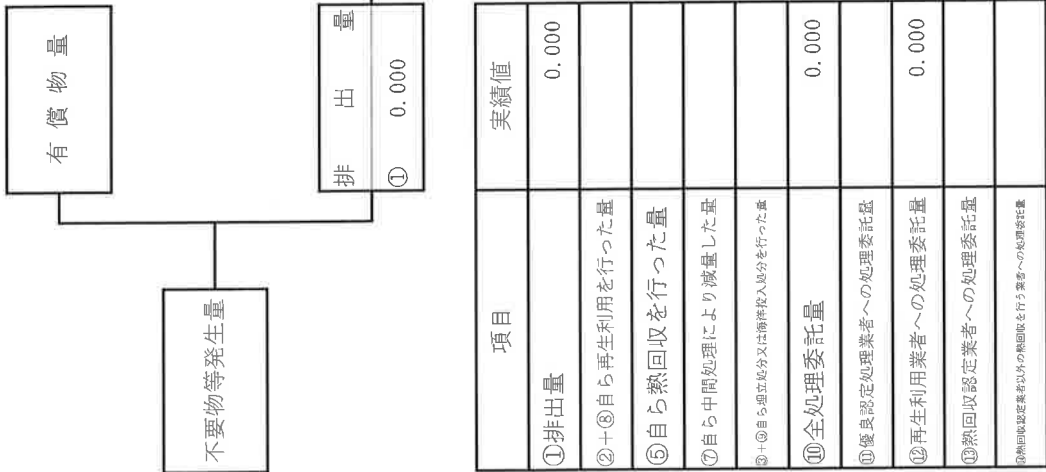


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



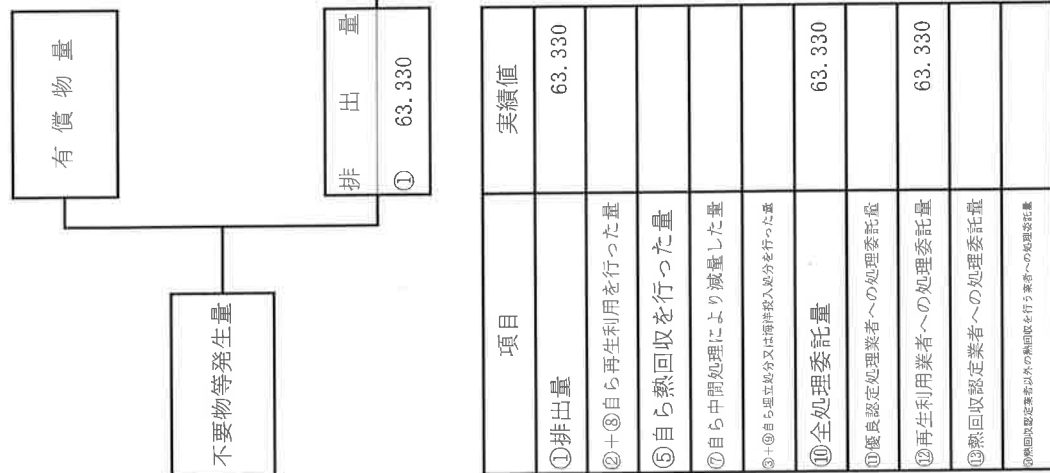
計画の実施状況 (産業廃棄物の種類： 繊維くず)



項目	実績値
①排出量	0.000
②+③自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
⑧+⑨自ら焼立処分又は焼却投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：石膏ボード)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：水銀製品)

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 0.000

自ら直接再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は焼却投入処分した量
③

項目	実績値
①排出量	0.000
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は焼却投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.000
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

自ら中間処理した量
④

④のうち熱回収を行った量
⑤

自ら中間処理した後の残存量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

自ら中間処理した量と埋立処分又は焼却投入処分した量
⑨

⑥及び⑦を自ら中間処理した後処理委託した量
⑩ 0.000

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪

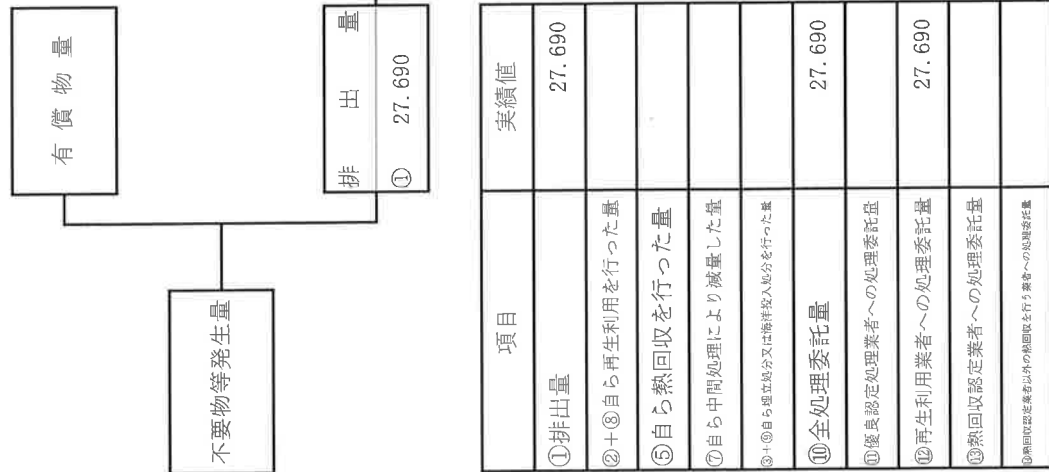
⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：管理型混合廃棄物)



(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況

産業廃棄物の種類	① 排出量	② 自ら直接再生利用量	③ 自ら直接埋立処分又は 梅津投入れ処分量	④ 自ら中間処理量	⑤ 自ら中間処理後の残量	⑥ 自ら中間処理による減量	⑦ 自ら中間処理後の再生利用量	⑧ 廃棄及び自ら中間処理後の処理委託量	⑨ 優良認定処理業者への処理委託量	⑩ 再生利用業者への処理委託量	⑪ 熱回収認定業者への処理委託量	⑫ 熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量
プラスチック類	251,300							251,300	75,390	175,910		
紙くず	98,550							98,550		98,550		
木くず	372,790							372,790		372,790		
金属くず	3,160							3,160		3,160		
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	729,500							729,500		729,500		
綿くず	0,000							0,000		0,000		
石膏ボード	63,330							63,330		63,330		
がれき類	0,300							0,300		0,300		
水銀製品	0,000							0,000		0,000		
管理型混合廃棄物	27,690							27,690		27,690		